

議員氏名：一石 洋子

議案番号：陳情第2号、陳情第3号（一括討論）

案 件 名：2024 年度介護報酬改定における、訪問介護の本体報酬単価引き下げに対する対応策を直ちに講じることを求める陳情書、
訪問介護報酬引き下げ撤回と介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを国に求める意見書提出についての陳情

討論内容：

私は、陳情2号、3号に賛成の立場で討論いたします。

国は2025年問題を迎えるに当たり、地域包括ケアシステムの一環として、住み慣れた地域で生活の質を担保しながら、在宅でケアを受けながら住み続ける政策に転換していくはずです。

しかしながら、サ高住のような大きな集合住宅を持つ法人でなければうまく回せない介護保険法改正がなされ、現場の小規模の有効な地域を回るケア事業者にハードルを上げる実態になるリスクは以前より専門家が指摘していたことです。

陳情者の説明を聞き、実態調査と政策策定に不備があったこと、国会審議中も様々なそごがあったことを確認しました。

小規模の事業者がきめ細かく人間的なケアができる環境を構築するために、そもそも介護事業者の労働単価の底上げが重要ですが、複雑な改正、加算要求、要綱体系が、むしろ地域密着の今後重要な事業者を締めつけ苦しめている緊急の事態と理解しました。陳情項目は妥当と判断いたします。